

中濃農林事務所の普及活動状況

令和2年9月30日現在

今月の重点活動

■(農)美濃種子 第5回理事会の開催

(農)美濃種子は、前身の美濃採種組合から農事組合法人美濃種子として、水稻種子生産を主体に本年4月24日に48名で設立された。

本年度の主な活動は、組合員の採種ほの刈り取り作業が中心であるが、今後は農地の集積・集約を図り、水稻種子の生産も計画している。

9月10日には第5回理事会が開催され、8月に組合員を対象にした「採種ほの営農継続に係るアンケート」結果の報告と、農地集積に向けた今後の活動方針などが検討された。農業普及課からは、関係機関と連携して法人の活動支援を行うとともに、いよいよ始まる稲刈り作業に向けて、農作業安全の啓蒙を行った。



【理事会の様子】

(地域支援係)

新たなブランドづくり

■さつまいも さつまいも生産組合会議の開催

9月11日、JAめぐみの本店において「令和2年度さつまいも生産組合会議」が開催され、今年度の収穫を前に、出荷規格や機械レンタルについて確認が行われた。

農業普及課から各組合員圃場で実施した生育調査及び土壌診断の結果等を報告し、参加者間で意見交換を行った。また、適期に良好な苗を確保すること等を目的に、組合内で苗を生産・供給する仕組みについても検討した。

農業普及課では引き続き関係機関と連携し、生育・収量調査を行って栽培技術の向上につなげるとともに、販路や苗供給体制等について検討していく。



【会議の様子】

(地域支援係)

■花き 県育成キンセンカ「かれん」シリーズ(種子系)の試験栽培

本県が育成したキンセンカ(カレンジュラ)「かれん」は、これまでのキンセンカのイメージを一新し、寒さや病気に強く、一重咲で花壇や寄せ植えに最適な品種として期待されている。

管内鉢花生産者ハウスでは、増殖しやすく改良された種子系3品種(レモンスフレ、レモンパンナコッタ、オレンジパンナコッタ)が、8月2日に秋出荷用として播種された。9月16日、農業技術センター研究員、農業経営課革新支援専門員とともに、セルトレーから3.5号ポットに鉢上げされた状況を確認し、暑さ対策、管理方法などについて栽培支援を行った。品種差はあるものの生育は順調で、9月下旬にかけて摘芯し出荷に備える。



【「かれん」試験栽培】

10月には早春出荷用の播種が予定され、農業普及課では、県農業経営課、研究機関と協力して「かれん」シリーズの現地栽培、販売を支援していく。

(地域支援係)

売れるブランドづくり

■ 水稲採種ほ 「ほしじるし」試験ほ場で坪刈を実施

(農)美濃種子では「あきさかり」、「あさひの夢」、「モチミノリ」、「ハツシモ岐阜SL」の4品種の水稲種子を生産している。

来作からは、「ほしじるし」を加えた5品種を生産するため、本年は品種特性の把握と肥料試験を兼ねて美濃市内4カ所に試験ほを設置し、関係機関と毎月2回(原則1日と15日)生育調査を行ってきた。5月24日に移植した「ほしじるし」が8月10日に出穂し、成熟期となった9月16日に試験ほの坪刈りを行った。

農業普及課では、今後は収量や品質等を調査し、優良種子生産に向けた支援を行っていく予定である。



【坪刈りの様子】

(地域支援係)

■ トマト トマト生産者を対象とした研修会を開催

中濃管内のトマトは、冬春作型を中心に9戸、約1.7haで栽培されているが、生産者組織は無く、栽培品種や栽培方式も異なり、独自に生産・販売して特徴ある経営を展開している。このため、栽培技術、スマート農業への取り組みなど生産者間で大きな差が見られる。

そこで9月24日に農業経営課から革新支援専門員を講師に招き、栽培管理のポイントやハウス内環境制御などについて、トマト生産者を対象とした研修会を中農総合庁舎で開催した。管内から7名が参加し、熱心に聴講して多くの質問が出された。

農業普及課では今後も研修会を実施し、将来はスマート農業の推進母体となるような自主研究グループを育成していく。



【研修会の様子】

(地域支援係)

■ 美濃市菊生産組合 アザミウマ類の誘殺数調査

美濃市菊生産組合では、38a(平成元年)の圃場で菊を生産し、平成22年度からは「ぎふクリーン農業」に登録して農薬の使用回数を削減する栽培に取り組んでいる。そこで農業普及課では、5月下旬から青色粘着トラップを8~9月収穫ほ場に設置し、アザミウマ類の誘殺数を調査して発生状況の把握に努め、適切な防除を支援してきた。9月8日、調査地点を11月出荷ほ場に転じた。

本年は6月中旬に発生ピークがあり、7月中旬までは例年より誘殺数が多く推移した。毎週実施している調査では、7月下旬より誘殺数が減少していたが、8月下旬以降は漸増傾向にあり今後も注意が必要である。調査は11月上旬まで継続し、環境に配慮した適切な防除を支援していく。



【11月収穫ほ場の調査】

(地域支援係)